

第13号

市自公連だより



筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南1-9-3

■発行責任者 会長 中野 二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

【役員の言葉】

公民館活動のアイデアは身近なところに



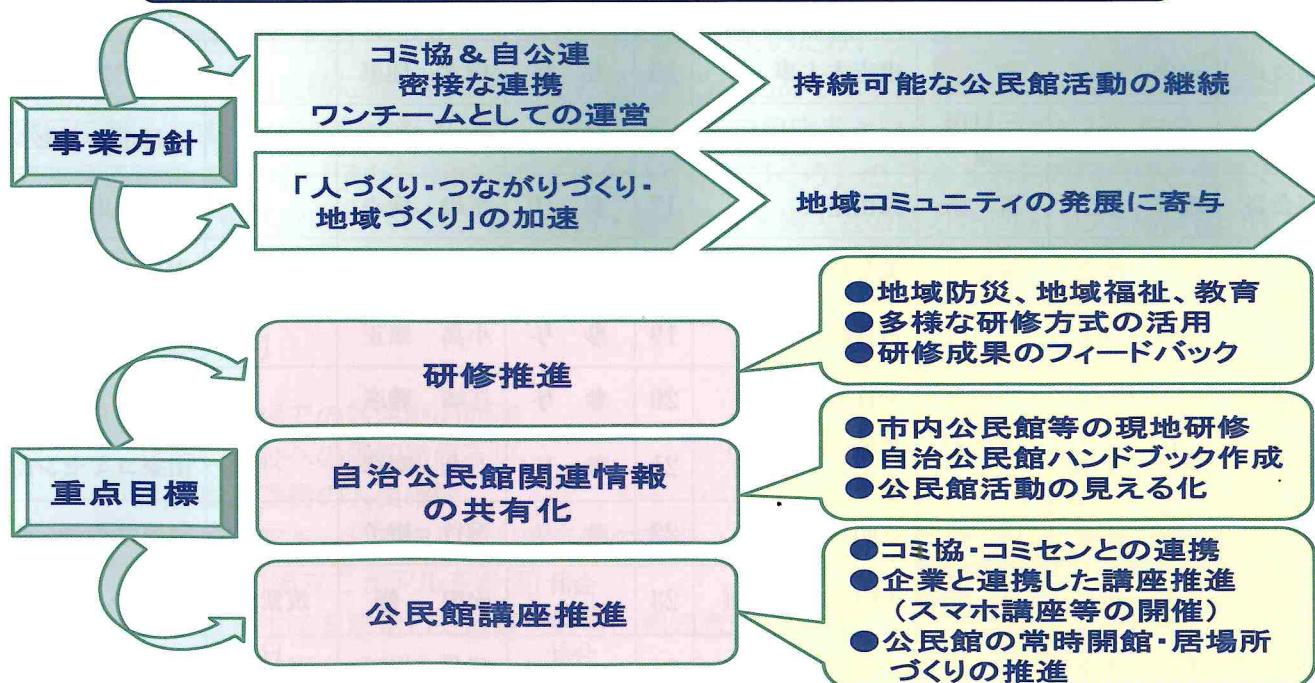
筑紫野市自治公民館連絡協議会
会長 中野 二郎（松ヶ浦公民館 館長）

新型コロナウイルス感染症が5月8日、感染症法上の「5類」に引き下げられ、季節性インフルエンザなどと同じ位置づけとなったことから、公民館活動もかつての活気を徐々に取り戻していくことが予想されます。公民館活動を企画・実施していく上で参考になるのは多様な活動情報ですが、九州地区公民館研究大会など大規模の研修会・交流会では、自治体が設立し管理運営する公民館やコミュニティセンター等からの情報発信が主で、地域の自治公民館活動の参考になる情報はあまり得られない傾向にあります。

そこで、本市にみられる小規模の自治公民館が、持続可能な公民館活動を継続し、地域コミュニティ活動の拠点としての役割を果たしていくためには公民館ネットワークのかなめである市自公連の適切な情報発信のもと、内部交流促進が不可欠だと考えています。

5月の市自公連定期総会では、「地区別公民館交流会」や新しい試みの「市内公民館等研修ツアー」「公民館ハンドブック作成」など、研修の充実と自治公民館関連情報の共有化が重点目標に掲げられており、事業計画を推進することによって、自治公民館の連帯感と仲間意識がより強いものになることを願っております。本年度も市自公連へのご支援をお願い申し上げます。

令和5年度市自公連事業方針・重点目標



令和5年度 市自公連定期総会が集合開催されました

4年ぶり



令和5年5月13日(土)生涯学習センターさんあいホールにおいて、市自治公民館連絡協議会定期総会が4年ぶりに集合形式で開催、議案すべてが承認され、新役員・事業計画が決定されました。(参加者:186名)

令和5年度主要事業計画

4月	6日	(木)	会計監査（令和4年度分）	9月	15日	(金)	役員会・理事会（推進大会準備等）
	14日	(金)	役員会（総会等）		30日	(土)	推進大会＜テーマ：地域福祉＞
	21日	(金)	理事会（総会等）	10月～2月		()	地区別公民館交流会
5月	13日	(土)	筑紫野市自公連定期総会	10月	27日	(金)	役員会（地区別公民館交流会等）
6月	17日	(土)	館長・主事等研修会	11月	14日	(火)	市内公民館等研修ツアー
7月	3日	(月)	市内公民館等研修ツアー		24日	(金)	理事会（地区別公民館交流会等）
	6日	(木)	役員会（推進大会内容等）	12月	9日	(土)	館長・主事等研修会
	14日	(金)	理事会（推進大会内容等）	1月	25日	(木)	福岡県公民館実践交流会
8月	3日	(木)	福岡県公民館大会	2月	日	()	福岡地区公民館研修会
	24日	(木)	九州地区公民館研究大会		16日	(金)	役員会（総会等）
	25日	(金)	＜九州公民館連合会主催合同研修＞	3月	15日	(金)	理事会（総会等）

令和5年度筑紫野市自治公民館連絡協議会役員・理事等名簿

役職名	氏名	地区	備考	役職名	氏名	地区	備考
1 会長	中野 二郎	二日市	松ヶ浦館長	13 理事	山内真由美	筑紫南	原田主事
2 副会長	長岡志津彦	山家	山家7区館長	14 理事	寺田 政秀	山家	山家7区主事
3 副会長	松田 敏雄	御笠	東吉木主事	15 参与	榎木 理恵		生涯学習課長
4 副会長	田代 邦夫	二日市 東	旭東(旭町)館長	16 参与	飯笛 能彦		二日市コミセン館長
5 副会長	岡部 信二	筑紫	諸田館長	17 参与	平嶋 廣幸		二日市東コミセン館長
6 事務局長	森 政之	筑紫南	美しが丘南館長	18 参与	白水 哲也		山口コミセン館長
7 会計	渡辺 貞夫	山口	古賀館長	19 参与	小島 康正		筑紫南コミセン館長
8 理事	尾上登士夫	二日市	天拝坂主事	20 参与	江崎 雅彦		筑紫コミセン館長
9 理事	萩尾 茂俊	二日市 東	若葉中原(若葉)主事	21 参与	石丸 明彦		山家コミセン館長
10 理事	酒井 正春	山口	立明寺主事	22 参与	雪竹 裕子		御笠コミセン館長
11 理事	秋好 和夫	御笠	上阿志岐西主事	23 会計監査	松田 修	筑紫南	隈主事
12 理事	永吉 孝廣	筑紫	常松主事	24 会計監査	藤井 才三	二日市 東	俗明院主事

令和4年度 地区別視察研修会

マンション建設とコミュニティ再編 ～子ども会を町内活性化策の核に～

松ヶ浦区は、昭和36（1961）年の創設当時から100戸余りで運営してきた町内会ですが、令和2年春には町勢を大きく上回る164室の分譲マンションが落成し、ほどなく270余戸の町内へと規模も景観も変貌しました。区は、町内規模拡大に備えての新公民館建設や、年度事業の基調に「小規模町内会の特色を生かした全員参加型のまちづくり」を据えたコミュニティ再編に取りかかりましたが、ちょうどコロナ禍の真っただ中で、夏祭りや体育祭など顔見知りになれるイベントができなかったことや、マンション特有の「個人情報保護」という壁もあって、思うように歩っていないというのが実情です。しかし、「協力して新しい町内会をつくりたい」という思いは同じで、マンション管理組合理事長が副区長に就任し双方の調整役を担うなど、緩やかながらも着実に再編が進んでいるという手応えを感じています。私たちがいま、町内・公民館活動活性化策の核として最も注目し期待しているのは、子どもたちと保護者のネットワーク「松ヶ浦区子ども会」の結成に向けた動きです。マンション立地により町内の二日市北小学校児童数が60人に急増したことから結成の機運が高まり、年度内実現に向けて最終協議段階に入っています。運営委員会では、若い世代の台頭に応えるために総合的な支援策の協議を始めるなど大切に見守っているところです。

松ヶ浦公民館 館長 中野 二郎

【二日市地区】



松ヶ浦公民館



100人収容大ホール



隣接の多目的公園

～ 高齢者に対する公民館活動 ～

当、古賀区は背振山地東端で天拝山南東麓に位置し、東は、立明寺地区、南は萩原・山口地区、北は武藏・塔原地区、北東は上古賀地区に接しています。また、諸説ありますが、[古賀]は[国術]から来たもので、筑紫の国の国衛が置かれていたが、後に筑前と筑後に別れた時に通古賀に移った名残と言う説もあります。

古賀区においては、区の活動方針として、[高齢者を地域で見守るという意識づくり]・[安全・安心を地域で支える意識づくり]・[子供を地域で育てるという体制づくり]の3本を活動内容の柱と考えております。また、公民館活動においては、民生委員・福祉委員・婦人会の協力をお願いして高齢者の体力にあった運動等と各組織の中で共に支え合うことが重要であると思います。

【山口地区】



古賀公民館

古賀公民館 館長 市村 達也

【今後の課題と対策】

- 課題：1.コロナ禍での各活動の停滞
- 2.防災活動への周知徹底不足
- 3.役員、委員の人員確保

- 対策：1.感染対策を十分考慮した分散活動の実施
(感染対策マニュアルを参照)
- 2.災害発生時を想定して避難訓練等の周知徹底
- 3.古賀区理事会における人員確保



【筑紫地区】



諸田公民館

～子どもから高齢者まで元気に暮らせるまちづくり～

諸田地区は、コロナ禍及びインフルエンザの流行により紙上開催となりました。諸田区は市の南東に位置し東は岡田・下見、北は永岡・桜台・常松区等に接し、人口は74世帯168人の住民が生活する農村地域です。昔から人口の変動が少ない小規模地区のため、住民のつながりや隣人意識も強い反面、高齢化率（65歳以上）46.39%と高齢者が多い地域です。近年ミニバイパスや諸田新道が出来、車の往来が多くなっています。

諸田公民館は2000年に新築し、様々な学習活動や住民の交流の場となっています。公民館活動としてはほんげんぎょう、グラウンドゴルフ愛好会、生け花教室カラオケ教室、その他学習講座等が実施されています。また、シニアクラブ寿会では、親睦旅行、GG大会、新年会、健康学級、月2回のお宮の清掃、毎朝通学時の見守り活動等を行っています。環境活動として、地区有志により諸田新道に季節の花を栽培する「花いっぱい運動」を15年間続けており、地区住民に限らず沿道通行者からも大変喜ばれています。

今後の課題として、小規模地区であり高齢者が進む中、「子どもから高齢者まで元気に暮らせるまちづくり」を目指し、住民の交流や生きがい作りのために公民館活動を考えていきたいと思います。

諸田公民館 館長 富吉 孝次



グランドゴルフ大会



敬老祝賀会



花いっぱい運動



出前講座 スマホ教室

【筑紫南地区】



筑紫南コミュニティセンター

～向こう三軒両隣～

本年2月5日(日)、筑紫南コミュニティセンターにて「見守り体制の構築」を主題に筑紫南地区公民館研修会を開催しました。本地区の公民館長(区長)・主事・民生委員・児童委員を中心に46名が参加しました。これは、昨年10月30日、市制50周年記念事業として地域福祉講演会を企画し、「困っている人を、ほっとけない・・・」をテーマに豊中市社会福祉協議会勝部麗子氏のリモートによる講演会で多くの感動と助言をいただき、その第2弾として企画したものです。

今回の研修会では、最初に筑紫野市高齢者支援課から「向こう三軒両隣」について説明を受け、続いて筑紫野市社会福祉協議会の進行により、行政区ごとのグループワークを行いました。グループワークでは、自己紹介からはじまり、日常的な「見守り」活動について意見交換をしました。その中で、さりげない見守りにつながっていくものとして「安心キット」を提案され、最終的に筑紫南コミュニティ運営協議会からも、「安心キット」をコミ協活動の一つとして積極的に取り組んでいきたいとの発言もあり、自公連とコミ協の連携による実り多い研修会となりました。



～ これからの公民館運営について ～

今回の地区別視察研修会は、本来ならば旭東公民館で開催するところを、部屋が狭いため、コロナ感染によるリスク軽減を最優先して二日市東コミセンで開催しました。ビデオによる公民館紹介のあと、事例報告と意見交換を行いました。

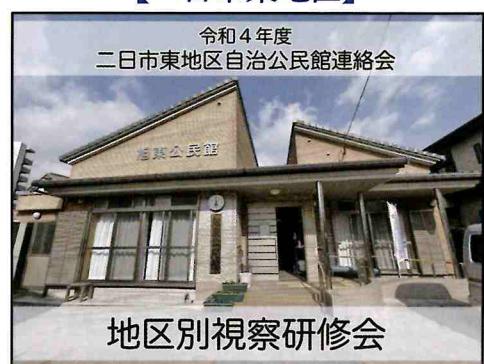
研修テーマ『これからの公民館運営について』と題する意見交換を主たる研修の内容とし、

以下の3つの項目について意見を求めました。

1. 公民館の常時開館に向けて
2. 若い世代や女性・仕事を持つ人も参加可能な組織づくり
3. 区長・自治会長・公民館長、3つの役割分割の可能性

60分を超える活発な意見交換の中で、公民館の常時開館については、多くの行政区がその必要を強く感じながらも具体的に着手出来ていないこと、またどの行政区も役員等の高齢化を懸念しながら有効な対策が打てていないこと等が明らかになりました。今回の研修会で、どの行政区も様々な課題を抱え、真剣に向き合っていることを改めて感じた次第です。

旭東公民館 館長 田代 邦夫



活発な意見交換 !!

～ 安全で安心な地域のために ～

下阿志岐の現状としては、令和4年10月1日現在、203世帯480名が居住し、そのうち80歳以上は40人で高齢化率は3割に達しています。居住地域は東西に分布し、東西の居住間隔は直線で2.5km、陸路では3kmに及び、西側は太宰府市の高雄、梅が丘に隣接しており、下阿志岐公民館に行くのは距離があり不便です。令和4年10月には、住民並びに公民館を中心とした関係団体等の地域活動において「筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会表彰」を受賞しました。

現在の取り組みとしては、公民館において区の行事やサークル活動を行うとともに、小学校との連携や登下校の見守り、宝満川を守る会、グリーンパートナーなどを実施しています。阿志岐小学校との連携事業の中では、毎年2年生を「町探検」で公民館に受け入れて、学習のお手伝いをしています。老松神社の防腐剤塗装の際は、地区の中学生が参加して、清掃や塗装を手伝ってくれました。今後の取り組みとしては、少子高齢化が進む状況において、安全で安心な地域を守ることは重要であり公民館活動においても館内だけでなく館外活動にも積極的に取り組んで地域住民の交流を図っていきたいと思います。



令和4年 公民館主催講座

参加人数は8人の小学生です。

子どもたちがひとりひとりのイメージを膨らませ自由に作品を制作しました。作品作りを通して、夏休みを振り返り情緒豊かな時間を過ごし、上手・下手とは関係なく自己表現して HAPPY♪を体験することを目指し開催しました。募集と同時に満員になる人気の講座です。出来上がった作品を小学校の自由作品にすると言って持ち帰りました。ただ作品を作るのではなく感情を呼び起こす「臨床美術」。作品とともに心のゆとりのようなものを子供たちは感じていたようです。



コロナ禍で開催 자체を躊躇する時期もありましたが、人員をしぼり、感染対策を万全にして臨んだ結果、非常に好評な講座になり、湯町公民館では土曜日開催の「わいわいクラブ」でも今後展開していくたいと思っています。

湯町公民館

夏休みこども教室
海のプレートづくり

8月27日（土）開催

令和4年度 コミセン出前講座 in 永岡

永岡公民館 陶芸教室

5月 12日（木）開催



筑紫コミュニティセンターと永岡公民館共催で開催しましたが、「出前講座」として初めて陶芸教室を実地しました。

コミセン受講者11名と永岡自治区より大人6名・子ども（幼児）は同時期開催の「えいっ子広場」より3名が参加し、手形、足形をとり、記念に残る作品になりました。参加者の愛犬の足型の作品も大好評でした。

永岡自治区では、今後、陶芸教室の開催を計画していくうと思います。



焼き上がりが楽しみ！





「みんな笑顔でつながる安心のまち」

二日市東コミュニティ運営協議会では、広報活動として『コミュニティだより』を年4回発行していますが、もっと気軽にいつでも見て欲しいという思いから「ジンドゥー」（無料ホームページ作成ツール）でホームページを立ち上げ、活動を紹介しています。

子育てサロンやイベント開催のお知らせ、公民館情報、行事予定、コミュニティセンターからのお知らせなどの掲載や更新・管理を事務局にて行っています。

また、一昨年LINEの公式アカウントを作成しました。

お友達登録をしたら、防災・災害情報やイベントの連絡が自動的に届き、そこからホームページやコミュニティだよりへも簡単に見に行けるようになっています。

今後、登録数を増やし、内容をさらに充実させていきたいと考えていますので、ご意見・ご要望などがありましたらどんどんお寄せください。お待ちしております。

〈ホームページ公民館紹介より〉

[トップ](#) [二日市東エリア](#) [公民館情報](#) [カレンダー](#) [コミュニティセンターより](#) [コミ協だより](#)

[協議会概要](#) [アクセス](#) [まちづくり計画についてお知らせ](#)

石崎公民館

当公民館は旧朝倉街道沿いの松尾宮境内にあり、社務所の跡地に地域の浄財をもとにして昭和45年に建てられたものです。この間、647世帯・1,598人に急増しました。今ではサークル活動のいくつかはコミセンに移り利用者が減りましたが、割烹着姿の婦人が似合う公民館です。現在も夏祭り・敬老会・餅つき大会・松尾宮の祭典・地域交流・サークル活動など地域に欠かせない施設となっています。手狭で老朽化し建て替えが喫緊の課題ですが、歴史を鑑みその日まで大切に使いたい

二日市東コミュニティ運営協議会

LINE公式アカウント

友だち募集中

二日市東コミュニティの情報・防災情報を
お届けいたします！

① 左のQRコードを読み取る
② ID検索【@832ghnaq】

友だち追加をお願いします

ホームページアドレス：<https://nihigashicom.jimdofree.com>

QR コード：

二日市東コミュニティ運営協議会

二日市東コミュニティ11行政区の自治会等をはじめとする各種団体によって構成された地域自治組織（コミュニティ運営協議会）です。

公民館紹介

武蔵公民館

武蔵区は、世帯数411世帯、人口929人（令和5年4月現在）天拝山の麓に南北に長く位置しています。

九州自動車道の筑紫野インターがあり、正に筑紫野市の玄関です。

「心と心ふれあい武蔵大家族」をスローガンとして、日頃から和気あいあいと活動しています。武蔵元気教室や青パト、子どもの登下校時や高齢者の見守り活動などを通して、絆を深めています。ここ数年は、コロナ禍の影響で、夏祭り、そうめん流し、敬老会、餅つき、新年行事は自粛を余儀なくされていましたが、門松としめ縄作りだけは、中止せずに有志で繋いできました。

毎年、年末には公民館の玄関に立派な飾りが出来ますので、近くにお越しの際はぜひ見に来てください。少しずつ元に戻りつつある日常。大家族で活動できる日も近いと、皆で楽しみにしているところです。

武蔵公民館 館長 畑添 和敏



西吉木公民館

筑紫野市の北側に位置する吉木地区は、太宰府市と隣接し、昭和40年から50年にかけて近隣に数箇所の大規模な宅地開発が実施されました。

また最近も宅地開発が行われ、現在の世帯数の195世帯から、今年も数十世帯増える予想になっています。

このような状況において、安全安心で暮らしやすいまちを維持していくには、「地域の特性を活かしたまちづくり」や「地域を知り、地域に愛着を持つ市民によるまちづくり」が必要となっています。

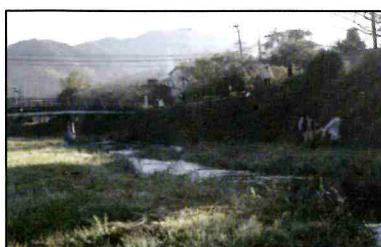
区においては、少子高齢化、情報化等の進展に伴い、区民のライフスタイルが大きく変化すると同時に、地域の希薄化により、地域での組織づくりが複雑化する一方です。

今年3月19日に西吉木公民館が、新しくなり市長を迎えて竣工式を執り行いました。今後も区民と地域のつながりをより一層強めていきたいと思います。

西吉木公民館 館長 鬼木 龍一



公民館竣工式



河川清掃



ほうげんぎょう

